

伊那市学校給食食農体験事業「暮らしのなかの食」実践発表会

「うれしいね！おいしいね！」

～五感で感じ、心が動いた経験から～



長谷保育園

1、はじめに



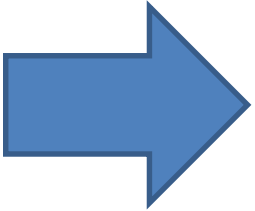
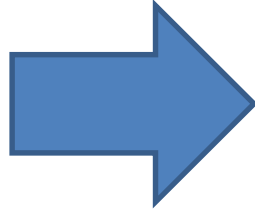
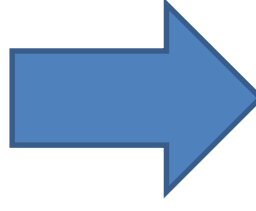
『そらとぶくじらの保育園』



異年齢で同じ遊びを楽しみます



2、保育士の願い

- 異年齢での関わり
地域との交流  食への関心
おいしさ、楽しさ
体とのつながり
- 作物に興味、関心  収穫への喜び
好奇心
- 子どもの気づき
意欲  心身の成長

3、手立て

- 子どもに寄り添いながら、様子を見取り記録する。
- 感性、探究心の記録から、遊びの背景、手立てを探る。今後の環境設定を考える。
- 地域の協力による豊かな経験を積み重ねていく。

4、具体的な研究内容と取り組み活動

- 園の畑作り
- 梅の木との関わり
- 溝口プロジェクト「くじら農園」との関わり
- 中学生との関わり
- 地域の方との関わり
- 異年齢の関わり
- 子どもの活動記録

5、実践事例



①「きになるトマト……」





パンツ！！



③「トマトケチャップ作り」





おいしく
なりますように。



…おいしい？



④「梅ジュース作り」



「甘いにおいが
する〜！」

「おいすぎて
もったいないから、
ちよつとずつ
飲んでるの。」



⑤「大きい！おいしい！落花生」



**これが
落花生だよ。**





「わ！でっかい、
いっぱいだー！」
「あ、超ちっせーの
もある！」

採れたて茹でたての
落花生をもくもくと
食べる子どもたち



6、考察

- ふとした瞬間にも気づきや発見、意欲、不思議に思う気持ちを感じた
- 「くじら農園」と関わり、園の畑だけでは触れることができない野菜に触れられた
- 様々な種類の野菜が収穫でき、クッキングも多く経験をすることができた
- 中学生との落花生の収穫体験は互いに頼りにしたり寄り添い手助けしたりして、よい交流になった。
- 野菜に関する一環した活動を経験でき、生きる力にもつながっていると感じた

7、今後の課題

- 食と自分の体とのつながりを感じる保育
- お腹がすいて食事おいしいと感じられる経験



- 興味を見取り、食と遊びのつながりを意識した環境設定
- 食材の変化を楽しめるクッキングなどを行った、心が動くような保育

